



生誕250年
ベートーヴェン・
チクルス

出演

〈指揮〉リュディガー・ボーン
〈ピアノ〉エリッ・ヴィルサラーゼ
〈管弦楽〉神戸市室内管弦楽団

プログラム

- ・交響曲 第4番 変ロ長調 作品60
- ・ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品73
『皇帝』
- ・交響曲 第5番 ハ短調 作品67 『運命』

新しい年の幕開けに、
好奇心の扉をたたこう。

ベートーヴェンの木々 第1回 〈皇帝〉〈運命〉



2020 **1.11** 〈土〉

神戸文化ホール 中ホール
15:00開演／14:30開場

※U25チケットは神戸文化ホールプレイガイドのみでの取り扱いです。
※やむを得ず、出演者・プログラムを変更する場合があります。

主催・お問合せ：(公財)神戸市民文化振興財団 tel.078-361-7241

入場料(全席指定) ※未就学児入場不可

S席	A席	U25 (25歳以下)
4,000円	3,000円	1,000円

チケット発売場所

友の会
先行発売 8.31〈土〉
一般発売 9.6〈金〉

- 神戸文化ホールプレイガイド TEL 078-351-3349
- チケットぴあ Pコード 157-636 TEL 0570-02-9999
- ローソンチケット Lコード 54559 TEL 0570-084-005
- 神戸国際会館プレイガイド TEL 078-230-3300

ベートーヴェン、 GO!(ピアノ協奏曲第5番) GO!(交響曲第5番)



ベートーヴェン・チクルスの第1回は、
GO!GO!と勢いよく、ベートーヴェン中期の名曲選を
お贈りします。誰しもが子ども頃の音楽室などで馴染みのある
ベートーヴェンの肖像、そして彼の肖像とセットで耳にした、
世界で最も有名な交響曲の一つ「運命」を中心に、
ベートーヴェン音楽の「キング・オブ・エンターテインメント」と呼ぶに
ふさわしい名曲をとり揃えました。

ベートーヴェンは生涯で5つのピアノ協奏曲を遺しています。
第4番までは、ベートーヴェン自身が初演時のピアニストを務めた
のに対し、今回演奏される第5番だけは、他のピアニストに初演時の
独奏を委ねています。聴力が一段と衰えたことでピアニストとして
一線を退く決断をしたことがうかがえます。



さて、みなさん既にお気づきのように
「ベートーヴェンの森」イメージ・キャラクター
じゃじゃ&じゃじゃーんの名前も、
今回の「運命」に由来しているんですね。

神戸市室内管弦楽団

BTHVN 2020

The copyright of the BTHVN2020 logo resides with
the Beethoven Anniversary Society.



リュディガー・ボーン Ruediger Bohn

ドイツ、リュベック生まれ。ピアノと指揮をケルン音楽大学とデュッセルドルフのロベルト・シューマン音楽大学で学ぶ。ピアニストとしてはフィレンツェとボルドーのコンクール、他、数々の室内楽コンクールで優勝。その後、レナード・バーンスタイン、セルジュ・チェリビダッケ、ジョン・エリオット・ガーディナーのマスタークラスを受け、指揮に専念する。ブリュッセルのモネ劇場にて音楽監督助手を務め、パーセルとリュベックの歌劇場の首席指揮者となる。また、ナンシー歌劇場、ダルムシュタット国立劇場、ボローニャのテアトロ・コムニナレ、RAI管弦楽団、スイス・ロマン管弦楽団、ローザンヌ室内管弦楽団などの客演指揮を行う。特に新しい音楽に関わりが深く、オーストリアの現代音楽アンサンブル「クラングフォルム・ウィーン」と「ワルシャワの秋」や「ザルツブルク音楽祭」に出演。また自身が創設した現代オペラ・ベルリンの音楽監督も務め、ヘンツェ、カーゲル、パティステリ、フェルドマン、ライマン、ヘルスキー、シャリーノ、マクスウェル・デイヴィス、リームらによるオペラを現代オペラ・ベルリンにて上演している。その他、ミュンヘン・ピエンナーレとの共同制作でチュウ・シャオン(Qu Xiao-song)によるミュージックシアター作品、ベルリン・コーミッシェ・オペラとの共同制作でツェンダーのオペラ「ドンキホーテ」を上演した。これまで韓国交響楽団、ソウルフィルハーモニック管弦楽団、ドイツ・ボーランド現代音楽アンサンブル、アンサンブルTIMFも客演指揮。2005年よりデュッセルドルフのロベルト・シューマン音楽大学指揮科主任教授。

エリソ・ヴィルサラゼ Elisavirsaladze

グルジア(現ジョージア)の首都ティフリス(トビリシ)生まれ。代々グルジアの芸術文化に深い
かわりを持つ家系に生まれ育つ。ピアノの手ほどきを、祖母のアナスタージャ・ヴィルサラ
ゼ教授から受けた後、モスクワへ移り、ゲンリフ・ネイガウスおよびヤコフ・ザークに師事。20歳
でチャイコフスキー・コンクール3位入賞を果たし、24歳の時にシューマン国際コンクールで優
勝。モーツァルト、ベートーヴェン、ショパンなど、18世紀および19世紀後期の作品に対し深い
愛着を持ち、とりわけシューマンの作品の最も優れた解釈を行う現代の演奏家のひとりとして、
高い評価を得ている。また、現代の作曲家を含む、ロシア音楽の幅広いレパートリーを持ち、旧ソ連の権威ある芸術賞を多数受賞して
いる。ヨーロッパの主要音楽都市にて定期的にリサイタルを行うほか、ナタリア・グートマンとのデュオ・リサイタルも各地で展開してい
る。室内楽およびサンクトペテルブルク・フィル、ロイヤル・フィル等のオーケストラとの共演では、北米、日本、ヨーロッパで大規模なツ
アーを行う他、各地の一流オーケストラと定期的に共演している。今までにルドルフ・バルシャイ、キリル・コンドラシン、リッカルド・
ムーティ、クルト・ザンデルリング、ヴォルフガング・サヴァリッシュ、エフゲニー・スヴェトラーノフ、ユリー・テミルカーノフなど、多くの
著名指揮者と共演。2019/2020シーズンは、ヨーロッパとアジアでのソロ・リサイタルと室内楽、サンクトペテルブルク・フィル、日本フィ
ル、ロンドン室内管等との共演を予定。日本を含む各国でのマスタークラスや、ブリュッセル、香港でのコンクール審査も務める。優れた
教育者としても知られており、モスクワ音楽院およびミュンヘン音楽大学の常任教授を務めるほか、主要な国際音楽コンクールの審査
員にしばしば招かれている。ライブ・クラシックス・レーベルからは多くの録音をリリースしている。



神戸市室内管弦楽団 Kobe City Chamber Orchestra

1981年設立。バロックから近現代までの幅広いレパートリーのほか、埋もれた興味深い作品にも意欲的に取り組み、質の高いアンサンブル活
動を展開。2000年、ゲルハルト・ボッセを音楽監督に迎え、飛躍的な発展を遂げるとともに、2011年にはドイツ公演を行うなど、国際的にも注
目を集めている。2013年度からは、日本のアンサンブル界を牽引した岡山淑が音楽監督に就任。ボッセ前音楽監督の高い理念を引き継ぎ、合
奏団から室内管弦楽団への移行をはじめとする当団の更なる発展に尽力した。2018年4月より「神戸市室内管弦楽団」と改名し、新たな活動
を展開している。

日程 / 会場	開演	プログラム	出演者
前夜祭 2019年11月16日(土) 神戸文化ホール 大ホール	16:00	● ピアノ協奏曲 第2番 変ロ長調 作品 19 ● ミサ・ソレムニス 二長調 作品 123	〈指揮〉秋山和慶 〈ピアノ〉伊藤 恵 〈合唱〉神戸市混声合唱団
第1回 2020年1月11日(土) 神戸文化ホール 中ホール	15:00	● 交響曲 第4番 変ロ長調 作品 60 ● ピアノ協奏曲 第5番 変ホ長調 作品 73「皇帝」 ● 交響曲 第5番 ハ短調 作品 67「運命」	〈指揮〉リュディガー・ボーン 〈ピアノ〉エリソ・ヴィルサラゼ
[神戸] 2020年3月20日(金・祝) 神戸文化ホール 中ホール [東京] 2020年3月22日(日) 紀尾井ホール	各15:00	● 交響曲 第1番 ハ長調 作品 21 ● ピアノ協奏曲 第3番 ハ短調 作品 37 ● 交響曲 第8番 ヘ長調 作品 93	〈指揮〉ジョナサン・コーエン 〈ピアノ〉キム・ソヌク

★「ベートーヴェンの森」は全7回(前夜祭も含む)の演奏会です。詳しくはホームページにてご確認ください。http://www.kobe-ensou.jp

各公演入場料(全席指定)
※未就学児入場不可

S席 4,000円 A席 3,000円 U25(25歳以下) 1,000円

上記3公演(神戸)がセットになったお得な《通し券》もあります!
S席限定・発売日~11/15まで 12,000円 → 9,000円で発売!

※通し券は神戸文化ホール(窓口及びオンライン)のみでの取り扱いです。(他割引との併用不可)



無料託児サービスのご案内

本公演では無料託児サービスがご利用いただけます。

- 託児対象:1才~就学前まで ● 利用時間:14:30(開場時)~終演後20分
- 定員:10人(先着順) ● 申込期間:チケット発売日~12月27日(金)まで
- 申込方法:下記までお電話にてお申込ください。

(公財)神戸市民文化振興財団 TEL 078-361-7241

神戸文化ホール

〒650-0017 神戸市中央区楠町4丁目2-2

- 神戸市営地下鉄西神山手線「大倉山駅」下車すぐ
- JR「神戸駅」・神戸高速鉄道「高速神戸駅」より徒歩約10分